



学校だより No.45

令和4年2月9日(水)
泉崎村立泉崎中学校

白 木

発行責任者 校長 桑原透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

情報モラル、SNSの使い方についての講話

先週、1日(火)に情報モラルやSNSの使い方、ネット依存などに関する講話を行いました。学年ごとに1時間ずつ時間を分けて実施しました。講師はICT支援員の田中先生です。学年ごとに内容を少しずつ変えて、実施していただきました。

ネットは上手に使える大変便利なものですが、使い方によっては命に関わる大きな事件に発展する可能性があることは、皆さんご存じだと思います。しかし、まだ精神的に成熟していない中学生にとっては、間違った使い方をしてしまい、取り返しのつかない状況になる可能性があります。中学校ではあらゆる機会をとらえて、あきらめずにくり返し指導して行きます。

講話を聴いた生徒の感想を掲載します。



- ・一日3時間のインターネットで、一年間約1095時間になり、学校の勉強時間を超えることにとってもびっくりしました。今日からインターネット利用時間を減らし、家族との時間、勉強時間、寝る時間にして、人生で楽しい一日一日を過ごしていきたいです。
- ・今日学んだことを活かして、ネット上に悪口や相手が傷つくことをあげたりはしません。ゲーム依存症にならないように、自分で時間を決めてからやるようにします。ネット上でのいじめがなくなるといいなと思います。
- ・青森県の女子生徒が「ネットでの悪口で自殺」というのを聞いて、「え!？」と思いました。本当に「ネット」というものは改めて恐ろしいと思いました。
- ・「やりすぎ」＝「依存」だと思っていたのですが、ちがいました。やりすぎは自分の意志でやめられる。依存はやめられない。全くちがっていました。ビックリしました。
- ・スマホを使うときには家族と決めたルールなどをしっかり守って使用していきたいです。また、一日に2時間使用している日が多いので、今の自分の状態を知り、それに合った目標を決めて、一週間続けられるようにして、少しでもインターネット使用時間を減らすことができたらいいなと思います。LINEなどでは、トラブルにならないような会話をして、相手の気持ちを考えて使います。

・今回の情報モラル講演を聞いて、ところどころは知っていたけれど、分からなかったことが分かってとてもためになりました。SNS はとても便利で楽しいけれど、使い方を間違えると大変なことにもなりうるのだということを学びました。3時間インターネットを使用すると、中学校の授業時間を同じくらいの時間になってしまうのは、怖いと思いました。

・LINE はサーバーに送られてから相手に送信されるという事を初めて知りました。SNS に投稿（とうこう）した人の6割が後悔しているを知って、私は投稿はしていないけど、LINE を送るときには、「送ってもいい言葉か」「これを送って相手は傷つかないか」などを考えて送ることを意識して、LINE を使っていきたいです。他の SNS 等も、今日学んだことを活かして扱っていこうと思います。

・LINE はとても便利なアプリだけど、簡単にいじめ等が発生したりする危険性も伴う事を知ることができた。取り返しのつかない言葉を言ったりして後悔しないように、正しく向き合っていく。ゲームやネットを禁止するのではなく、制限することで自分が成長できるようにする。近未来な世界に直面しても使い方を誤らないで生きていこうと感じた。

・LINE の内容はサーバーに保管されていることを初めて知りました。あと、公立中学の授業時間が約1000時間だってことも初めて知りました。今回の講演で、設定時間を決めてメディアに接するというのを学びました。自分は平日メディアにだいたい1時間ほど接しているので、少しずつ減らしていけたらなあと思います。これからは、ネット依存にならないように、毎日心がけたいと思います。

・私はLINE や SNS は今はやっていないけれど、必ず将来はやる事になると思うので、依存になったり、トラブルになったりしないように利用したいなと思いました。また、投稿した内容はサーバーに残ることを初めて知り、SNS 等を使用するときは投稿内容に十分気をつけようと思いました。もちろん、LINE によるいじめや写真の拡散は自分にもかえって被害者になるかもしれないし、相手も傷つくので、やってはいけないと思います。絶対にネットとは付き合うことになるので、上手に付き合いたいです。

・私は自分で決めた時間よりいつもインターネットに触れる時間が少し長くなっているなど、今日改めて感じたので、ネット依存にならないように、家族とも話し合っただけでルールを決めて、正しく使いたいと思います。ネットは正しく使えばとても便利だということを知ったので、間違っただけで使い方をせず、自分も他の人も嫌な思いをしないように心がけて使っていきたいと思いました。そして今日、講演をしてくださった先生のおかげで、自分がダメだったことや、気をつけたいなって思えるきっかけにもなったので、教えて下さったことを忘れず、教えていただいたことに感謝し、ルールを守りながら楽しくインターネットを利用したいなと思いました。

特集 ネット依存⑦ (再掲)

10 ネット依存を予防するために

○ネットに触れない時間をつくる

- ・何よりもまず一日の中で全くインターネットを使わない時間をつくるのが大切です。たとえ些細な事であっても、自由にネットに触れる機会が用意されている以上は、依存への入り口が開いていることを意味します。ネット依存を予防するためには、一定程度の時間、完全にネットを遮断する環境が必要です。

泉崎村で実施している、ノーメディア運動が有効であることがわかります。

